

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組
 教科担当者：(AB組：伊藤 真弓) (CD組：伊藤 真弓) (EF組：伊藤 真弓) (GH組：伊藤 真弓)
 使用教科書：(ON! 1 音楽之友社)

教科 芸術 の目標：音楽・美術・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】芸術活動を通じて、専門分野の能力の向上、国際的に活躍することができる人材の育成。

【思考力、判断力、表現力等】芸術活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力（専門分野）の向上。

【学びに向かう力、人間性等】芸術活動を通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 音楽 I の目標：音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自らの考えや感性を整理して分析するための知識や、それを表現するために必要な技能を身に付ける。	音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わり、思考力、判断力、専門的な表現力を養う。	音楽の幅広い活動やグループ活動を通して、豊かな人間性を持った人材の育成を目指し、コミュニケーション能力を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創							
1 学期	1. 歌唱、合唱 【知識及び技能】 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 教材 ヴォイストレーニング 翼をください おおシャンゼリゼ イタリア歌曲	・腹式呼吸の特徴をつかみ、歌うときの姿勢を身につける。 ・歌唱に必要な発声を身につける。 ・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 教材 ヴォイストレーニング 翼をください おおシャンゼリゼ イタリア歌曲	○		○	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現のために発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と音楽のあ構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 実技テスト、ワークシート記述					18
	2. ボディパーカッション・楽典 【知識及び技能】 ・曲想と音色やリズムとの関わりについて正確に楽譜を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、テクスチャを知覚し、どのように演奏するかについて表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心を持つ。	・譜読み ・楽典の基礎的事項の復讐 ・個人練習 ・全体練習 ・アンサンブル（打楽器も使用） 教材 プリマスロック クラッピングカルレット			○	【知識及び技能】 ・曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わりについて理解している。楽譜を正確に読み取り、リズムを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 実技テスト、ワークシート記述					8
	3. 西洋音楽史・総合芸術 時代と作品を理解する。 【知識及び技能】 ・様々な時代の音楽や作曲家の特徴と、その文化的・歴史的背景との関連を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽表現の共通性や固有性について考える。音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な時代の文化的・歴史的背景との関連に関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組む。 ミュージカル作品について	西洋音楽の流れ ・作曲家年表と主な作品 ・ミュージカルについて ・オペラについて 教材 教科書			○	【知識及び技能】 西洋音楽の流れを文化的・歴史的背景との関連を知りつつ学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的な背景を踏まえて音楽の多様性を理解し、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。 ワークシート提出					4
2	混声合唱 【知識及び技能】 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想や歌詞の内容を理解し、音楽表現を工夫し、どのように声を合わせるか表現意図を持って取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・声を合わせる活動に関心を持ち、それらを活かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。	・発声 身体の使い方 ・歌詞の内容・歌詞の発音 鼻濁音 ・各パートごとの正確な読譜 ・曲想 ・曲中での各パートの役割の変化 ・音色、リズム、強弱、形式、構成 教材 教科書 合唱曲 成集	○			【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現のために発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、どのように声を合わせるかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・声を合わせる活動に関心を持ち、主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。 実技テスト、ワークシート記述					12
	楽器を弾こう 【知識及び技能】 ギターの基礎的奏法の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色やリズム、旋律、和音、音階の学習をして、表現の工夫をする。	・楽典の基礎 ・コードの学習 ・楽譜の読み方 ・ギター奏法の基礎技能の習得 ・基本奏法（構え方、各部の名称、弾き方）を学ぶ。			○	【知識及び技能】 ・楽器の特徴を理解し基本的技能が身についている。楽譜を正確に読み取り、リズムを理解して演奏している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、旋律、和音の関係を知覚					12

<p>学期</p>	<p>し、パレエヘモナ。・楽器の演奏に興味を持ち、主体的に器楽の活動に取り組む。</p> <p>3. 西洋音楽史 時代と作品を理解する。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な時代の音楽や作曲者の特徴と、その文化的・歴史的背景との関連を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽表現の共通性や固有性について考える。音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な時代の文化的・歴史的背景との関連に関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組む。 <p>オペラ作品について、パレエ作品について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンサンブルを楽しむ <p>西洋音楽の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作曲家年表と主な作品 ・ミュージカルについて ・オペラについて <p>教材 教科書</p>			<p>し、工夫して表現しようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽の演奏に関心を持ち、主体的に意欲を持って器楽の学習活動に取り組もうとしている。 <p>宇村ヒマツ、ワークシート記述</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>西洋音楽の流れを文化的・歴史的背景との関連を知りつつ学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>文化的・歴史的な背景を踏まえて音楽の多様性を理解し、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。</p> <p>ワークシート提出</p>		6
<p>3学期</p>	<p>創作しよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した基礎的な楽典を元に、自ら作曲をし、発表する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作発表において自らの表現ができる <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに認め合い鑑賞する 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典の基礎を振り返り学習をし、テーマに沿った創作及び演奏・発表を行う。（楽器及び各自PCの共通アプリを活用する） 		○	<p>【知識及び技能】</p> <p>和音と旋律の関係を理解し、創作表現を創意工夫している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和音の響きを感じ取り、それに適した旋律作りに意図を持っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律創作に関心を持ち、主体的・協働的に創作の活動に取り組もうとする。 <p>発表テスト、ワークシート記述</p>		10